

月	ねらい	1 年	2 年	3 年	担当者の仕事	関連行事等
4	新しい生活への適応	・性格検査 ・個人調査票の作成 ・父兄面接	・個人調査票の作成 ・父兄面接	・個人調査票の作成 ・父兄面接	・相談室の整備 ・相談室のPR ・検査・調査の計画・決定 ・外部機関との連絡	・入学式 ・対面式 ・PTA総会 ・健康診断
5						

※ この例は全日制普通科高等学校である。

### 3 相談室のP・R

教育相談室は、教師と生徒の意思と感情が交流できる場であり、また、話し合ったことの秘密が保障される場でなければならない。そこで、相談室はあくまでも話し合いの場であり、取り調べや、一方的な説教の場ではないことを、十分P・Rする必要がある。

生徒が相談室を利用し、相談することによって、相談した喜びを感じるまでには至らないにしても、少なくとも、不満や失望を残さないようにしたいものである。このためには、相談室について、次のようなアンケートを準備し、回答を求めることにより、生徒の意識の程度を知ることができるし、相談担当者自身の反省にもなり、生徒に今後どう働きかけていくべきかの指針も得られるであろう。

**相談室アンケート**

相談室では皆さんが、相談室について、どのように感じているか、何を希望しているかを知りたいと思います。

そこで、下の質問に対して、自分の思った通りをそのまま答えて下さい。これらは、皆さんの意見によって、今までよりっとよい相談室をつくるためのものです。皆さんの成績とは関係ありません。

思った通りの番号を1つ選んで□の中にその番号を書き入れて下さい。

「I」……今までに、相談室を利用したことがありますか。

1. ある (「I」(ある)の場合、何回ぐらい利用しましたか? ○印をつけて下さい。  
(1回, 2回, 5回, 6回以上))

2. ない

---

「I」の質問に①と答えた人

「II」相談室に行こうと思った動機は…

1. 相談室なら秘密を守って、相談に乗ってくれると思ったから。

2. 相談するのにちょうどよいと思ったから。

3. 他に相談したが、解決できなかったから。

4. 友人、家族に勧められたから。

5. 先生に行きように言われたから。

6. その他 ( )

「I」の質問に②と答えた人

「II」相談室を利用しない理由は…

1. 別に問題がないから。

2. 問題があっても自分で解決できるから。

3. 先生、友人、家族に相談するから。

4. 秘密がもれそうで心配だったから。

5. 行っても仕方がないと思ったから。

6. その他 ( )

<p>「III」相談室へ行って、問題は解決しましたか。</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 問題が解決してすっきりした。</p> <p>2. 問題はすっかり解決したとは言えないが、何となく自信・勇気がわいてきた。</p> <p>3. あまり変化はなかった。</p> <p>4. ほとんどためにならなかった。</p> <p>5. 行かなければよかった。</p> <p>6. その他 ( )</p>	<p>「III'」相談室は悩み、その他の問題解決に……</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 大変役にたつと思う。</p> <p>2. ある程度役に立つと思う。</p> <p>3. 余り役立たないと思う。</p> <p>4. 全然役に立たないだろう。</p> <p>5. 分らない。</p> <p>6. その他 ( )</p>
<p>「IV」今後また、問題が起こったら…</p> <p><input type="checkbox"/> 1. すぐ相談室へ行くと思う。</p> <p>2. 多分行くだろう。</p> <p>3. 行くかもしれない。</p> <p>4. あまり利用する気がない。</p> <p>5. 絶対利用しない。</p> <p>6. その他 ( )</p>	<p>「IV'」今後、何か問題が起こったら…</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 相談室にすぐ行くと思う。</p> <p>2. 多分行くだろう。</p> <p>3. もしかしたら行くかもしれない。</p> <p>4. あまり利用する気がしない。</p> <p>5. 絶対に利用しない。</p> <p>6. その他 ( )</p>
<p>「V」学校に相談室のあることについて</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 生徒がよりよい学校生活を送るため、是非必要である。</p> <p>2. 問題があってもなくても、カウンセリングを受けることは、よい経験である。</p> <p>3. あった方がよい。</p> <p>4. あまり必要ない。</p> <p>5. 絶対いらない。</p> <p>6. その他 ( )</p>	<p>「V'」学校に相談室のあることについて</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 生徒が、よりよい学校生活を送るため、是非必要である。</p> <p>2. 問題があってもなくても、カウンセリングを受けることは、よい経験である。</p> <p>3. あった方がよい。</p> <p>4. あまり必要ない。</p> <p>5. 絶対いらない。</p> <p>6. その他 ( )</p>
<p>学年 組 番 氏名</p>	<p>学年 組 番 氏名</p>
<p>「VI」相談室に対する希望・感想など気のついたことを何でも書いて下さい。</p> <p style="text-align: center;">カウンセラーに対して……</p> <p style="text-align: center;">相談室の雰囲気、設備のことなど何でも……</p>	
<p>学年 組 番 氏名</p>	

※ 学校相談心理学の展開, 神保信一著, 金子書房より引用

### 4 まとめ

教育相談担当者に限ったことではないが、教師は、生徒ひとりひとりを個性豊かな人間として尊重し、愛すること、感受性が豊かであること、情緒が安定していること、たえず自己の向上を図ること、他教師と望ましい協力関係を作ることが大切である。このことは、ロジャースのいう「(1) 人間的な純粋・誠実な態度, (2) 無条件積極的尊重 (受容), (3) 共感的理解で相談にあたれば、相手のパーソナリティは、必ず健全な方向へ変化していく」ということと同じような意味であり、相談における重要な鍵となっていることを忘れてはならない。